

国際部からのご案内

国際プログラム推進課

目次

芝浦工業大学の留学プログラム

2026年春の語学研修ラインナップ

奨学金・単位認定

危機管理・サポート体制

留学プログラムラインナップ

卒業生の
在学中海外プログラム参加率

2人に1人※

専門性

研究室配属型
交換留学

→原則4年生以上。
協定校の研究室にて自分の研究を進める。

授業履修型
交換留学

→原則3年生以上。
協定校に半年～1年留学し専門の授業を英語で学ぶ。

海外インターンシップ

→2年生以上。
キャリアサポート課で募集。

グローバルPBL
(Project based Learning)

→海外の学生とグループを組み、問題解決に取り組む。
1年生向けのプログラムもあり、最初にチャレンジしてほしいプログラム。期間は2週間～1か月。

語学研修

→1年生から参加可能な英語を学ぶプログラム。
夏春休みに実施。期間は2週間～1か月。

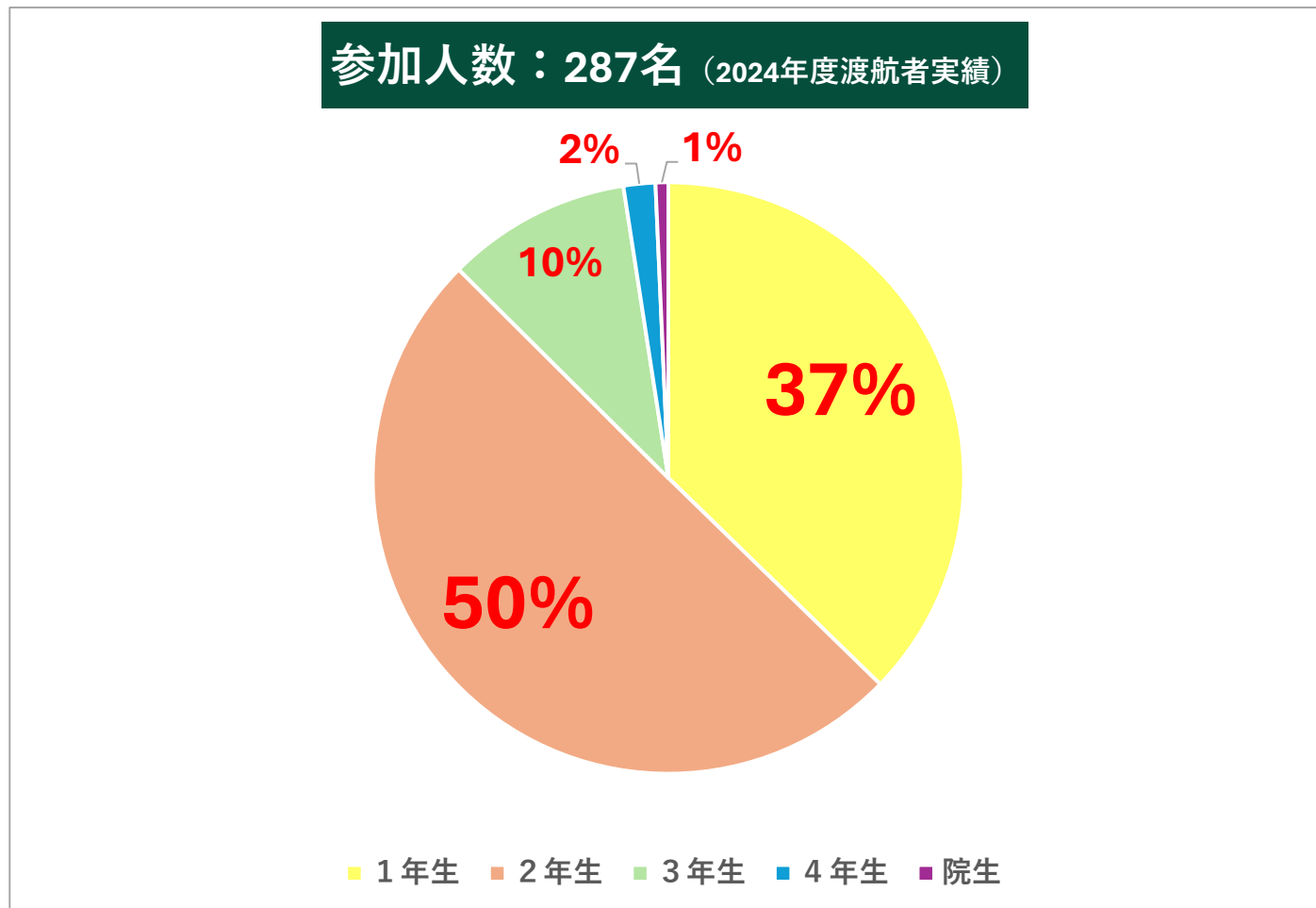
語学力

※2021年3月卒業生のうち在学中に語学研修、グローバルPBL、海外インターンシップ、交換留学等の本学主催海外渡航PBLに参加した学生が占める割合

語学研修の参加者内訳

参加者のほとんどは**1・2年生**！

「1年生だからまだ早い」ということはありません



2026春のラインナップ

じっくり

US, Asia
×
4weeks



ローワン大学



アジアパシフィック大学

気軽に

Asia
×
2weeks



マレーシア工科大学



インド工科大学マドラス校

気軽に

US
×
2weeks



グアム大学

①語学研修プログラム 重要注意事項

②海外留学プログラム 渡航誓約書

[illegible]

締切期日までに注意事項・渡航誓約書を提出できていない場合は申込が認められません。

奨学金について

2週間プログラムに参加する場合は、**奨学金支給対象外**です。

4週間プログラムに参加する場合は、**以下の基準を満たした学生にのみ奨学金を支給**します。

支給対象プログラム	支給対象者	支給金額
欧米	成績評価係数2.3以上の学生* *夏季・春季合わせて 年間上限70名まで	11万円
アジア		9万円

注意

※成績基準については成績評価係数（GPAとは異なります）2.3ポイントが基準となります。成績評価係数の算出方法や、基準となる算出期について等の詳細は以下を参照ください。

<https://www.shibaura-it.ac.jp/global/dispatch/scholarship.html>

※奨学金は、プログラムの渡航期間中に申し込み時に申請いただいた金融機関口座に大学から送金します。
プログラム費用支払い時は、プログラム費用の全額を一旦ご準備いただく必要がありますのでご注意ください。

単位について（学部生のみ）

PDF資料： https://shibaura3.sharepoint.com/:b:/t/Omiya-glc2-tm/EdE9Dj1VK5xPpJJu0EHJUvvsBHjK9KAa3V9mOa_38fH3z9g?e=lsRFkL

SICアカウントへログインしてご覧ください→



【全学部対象】プログラムによっては、国際部が修了証を集める場合があります。修了証を提供されない場合、単位認定はなされませんのでご了承ください。

プログラム			工学部（2024年度以降の入学者）		工学部（2023年度以前の入学者）		建築学部		システム理工学部（2024年度以降の入学者）		システム理工学部（2023年度以前の入学者）		デザイン学部	
			科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
アジア系	4週間	ローワン大学	海外語学演習1～4	2	海外語学演習1～4	2	海外語学演習1～4	2	海外英語研修1～II	2	海外英語研修1～II	2	英語圏の言語と文化	2
	2週間	グアム大学	海外語学演習1～4（短期）	1	工学英語研修1～4	1	海外語学演習（短期）1～4	1	海外短期英語研修1～II	1	海外短期理工学英語研修1～II	1	英語圏の言語と文化（短期プログラム）	1
	4週間	アジア・パシフィック大学	海外語学演習1～4	2	海外語学演習1～4	2	海外語学演習1～4	2	海外英語研修1～II	2	海外英語研修1～II	2	英語圏の言語と文化	2
	2週間	マレーシア工科大学	海外語学演習1～4（短期）	1	工学英語研修1～4	1	海外語学演習（短期）1～4	1	海外短期英語研修1～II	1	海外短期理工学英語研修1～II	1	海外工学英語研修	1
	2週間	インド工科大学 マドラス校	海外語学演習1～4（短期）	1	工学英語研修1～4	1	海外語学演習（短期）1～4	1	海外短期英語研修1～II	1	海外短期理工学英語研修1～II	1	海外工学英語研修	1
			プログラムを完了することの他に、外国語能力運用アンケート（留学・海外研修進捗調査の両方）に期限までに回答すると単位認定されます。（N評価）		プログラムを完了することの他に、外国語能力運用アンケート（留学・海外研修進捗調査の両方）に期限までに回答すると単位認定されます。（N評価）		学生は手続き不要。プログラムを完了すれば、自動的に単位認定されます。（N評価）		「海外英語研修I・II」は、単位取得のために、帰国後に面接が必要です。（SABCD評価） 学生は履修登録不要です。 「海外短期英語研修I・II」は、プログラムを完了すれば、自動的に単位認定されます。（N評価） 学生は履修登録不要です。 なお、単位認定を希望しない学生は研修前に大宮学事・学生課に申し出てください。（ただしその場合は奨学金の支給対象外となります。）		「海外英語研修I・II」は、単位取得のために、帰国後に面接が必要です。（SABCD評価） 学生は履修登録不要です。 「海外短期理工学英語研修I・II」は、プログラムを完了すれば、自動的に単位認定されます。（N評価） 学生は履修登録不要です。 なお、単位認定を希望しない学生は研修前に大宮学事・学生課に申し出てください。（ただしその場合は奨学金の支給対象外となります。）		プログラム終了後、レポート提出が必要です。帰国後Socra2を帰国してください。（SABCD評価） 学生は履修登録不要です。 「英語圏の言語と文化」・・・プログラム後にレポート（A4レポート用紙5枚とし、英語で作成）の提出が必要です。内附と英語の両方が評価されます。 また、カリキュラム上、在学中に単位認定されるものは、以下4単位がマックスです。 「英語圏の言語と文化」2単位（4週間相当） 「英語圏の言語と文化（短期プログラム）」1単位（2週間相当） 「海外工学英語研修」1単位（2週間相当）	

- ・海外留学プログラムは、テロ、政変、天災等の不確定要素により中止となる場合もあります。
- ・単位の認定期は原則実施した**「翌期」**となります。
- ・留学プログラムの単位取得状況により進級要件、卒業要件等に影響が出ることのないよう履修計画を組み立ててください。
- ・語学研修の単位認定方法について上記に概要を記載しますが、卒業要件への算入可否や認定される科目区分等の詳細については「学修の手引」をご確認ください。
- ・リピーター（同じ協定校の語学研修に複数回参加する場合の取扱について等）の取扱については、次のスライドをご確認ください。
- ・大学院生は、語学研修プログラムの単位認定制度はありません。
- ・また、学部4年生時に参加の場合も、単位認定が翌期となります。（春渡航の場合、実質単位付与はできません。）

単位について(学部生のみ)(続き)

語学研修プログラムの単位認定について 別紙

リピーター（同じ協定校の語学研修に複数回 参加する場合の取扱について等）の取扱については、本スライドをご確認ください。

学部	オンライン型に参加したことがある学生が、 同じ協定校が提供する渡航型に参加した場合	渡航型に参加したことがある学生が、 同じ協定校が提供する渡航型に参加した場合
工学部 デザイン工学部 建築学部	認定されません。 (ただし同じ協定校でも長期と短期のように別のプログラムの場合は認定する)	
システム 理工学部	認定します	認定されません

※2021年度以前の工学部・建築学部の入学生については、異なる時期に参加した場合認定します。（同じ認定科目で累計4回まで）

工学部の語学研修科目単位認定条件が変わりました！

- 2023年 夏休みプログラムまで
 - 学生は手続き不要。プログラムを完遂すれば、自動的に単位認定されます。(N 評価)
 - ※プログラムによっては、国際部が修了証を集める場合があります。修了証を提供されない場合、単位認定はなされませんのでご了承ください。
- 2024年 春休みプログラムから
 - プログラムを完遂することの他に、外国語能力運用アンケート(留学・海外研修事前調査と留学・海外研修事後調査の両方)に期限までに回答すると単位認定されます。(N 評価)
期限*は別途、国際部から案内されるプログラム終了後対応締切と同日です。事前事後一方でも未回答や締切後の回答の場合は単位認定されません。
 - ※プログラムによっては、国際部が修了証を集める場合があります。修了証を提供されない場合、単位認定はなされませんのでご了承ください。

*期限 語学研修プログラム終了後に対応すべき、
(1) プログラム体験談/アンケート(2) 留学後報告書 様式H-1 の回答 の期限と同じです。

安心して留学するためのサポート体制

語学研修参加者は、大学が指定する海外旅行保険および危機管理サービスに加入いただきます。（保険料はプログラム費用に含まれています。）

1. 海外旅行保険

補償項目	保険金額	補償概要
傷害死亡	2,000万円	渡航中に、事故によるケガが原因で死亡した場合
傷害後遺障害	2,000万円	渡航中に、事故によるケガが原因で身体に後遺障害が生じた場合
治療・救援費用	無制限	渡航中に、ケガや病気で治療を受けた場合の治療費や3日以上入院し日本から親族が現地に駆け付ける場合等
疾病死亡	1,000万円	渡航中に、病気が原因で死亡した場合
個人賠償責任	1億円	渡航中に、他人にケガをさせたり、お店の品物を壊して賠償責任を負った場合等
携行品損害	10万円	渡航中に、携行したパソコン等を盗まれたり、落下させ破損した場合等
航空機寄託手荷物遅延	10万円	航空機搭乗時、預けた手荷物が到着後6時間以内に目的地に運搬されなかった場合
航空機遅延	2万円	悪天候や機体の異常などの理由で、搭乗予定の航空機が6時間以上遅延したり、欠航・運休となった場合
疾病応急治療・救援費用 ※31日以下のプログラムのみ	300万円	渡航開始前に発病し医師の治療を受けたことがある病気が原因で、渡航中にその症状の急激な悪化により医師の治療を受けた場合



本学では海外における提携病院数が多いAIGを採用しています。

補償についての詳しい内容は下記ホームページをご確認下さい。

本学HP <https://www.shibaura-it.ac.jp/global/dispatch/attention.html>

AIG海外旅行保険 <https://travel.aig.co.jp/ota/plan/study>

詳細は本学提携の保険会社イーコールズ株式会社にお問合せください。

イーコールズ株式会社

T E L : 03-5614-0696 / E - M A I L : kanyu@e-calls.co.jp

営業時間：10:00-18:00（土日祝日休）

本学



AIG



安心して留学するためのサポート体制

2. 危機管理サービス

(1) 24時間365日日本語対応可能な相談デスク

「体調が悪いので病院を紹介してほしい」「パスポートを紛失してしまったがどうすればよいか」「ATMからキャッシュカードが出てこなくなった」等、あらゆる問い合わせに対応します。

(2) 安否確認サービス

スマホアプリ（プロファイnder）の利用により、地震やテロが起きた際には迅速に安否確認を行います。



渡航前の事前指導により、危機管理マインドを高めてから渡航します。

危機管理セミナー

第1回オリエンテーションに合わせ、海外旅行保険・危機管理サービス会社から専門家を招きセミナーを行います。実際に起こりうるトラブル事例・対策をケーススタディで学びます。

渡航前ガイダンス

第2回オリエンテーションでは、渡航先毎に現地事情や必要な持ち物等について説明を致します。また、保険代理店の担当者が加入している保険や危機管理サービスについて改めて説明を行うとともに、保険証券の確認、安否確認アプリの登録方法など、万全の準備を整えたうえで渡航します。

お問い合わせ先

■申込方法・渡航先・申請書類・プログラム内容について
各プログラム担当の旅行代理店へ

■保険について

イーコールズ株式会社

☎：03-5614-0696 ／ ✉：kanyu@e-calls.co.jp

■学内手続きについて

大宮キャンパス：

大学会館 大宮GLC

豊洲キャンパス：

本部棟4 F 国際部

国際部国際プログラム推進課

✉：outbound-esl@ow.shibaura-it.ac.jp

☎：048-720-6390

語学研修担当まで